



大字

庭訓雜

全
平儀齋附



浄家流

嘉永 再刻

庭訓性来全

平假名附

皇都書林 全刻發兌



庭訓性来

春始 浄悦 白貴 方生 統作

幸留 貴万 福祥 幸甚 作

歲初 朝好 志心 以朝 日令 定次

可急 申之 委致 強催 人子 日

遊之 乃在 思定 引似 谷鷺 志操

花苑小蝶拈日欵頗宵中^中之^上年
將又楊^中弓^上崔小^中官^上勝^中負^上道^中幾^上小
半^中會^上州^中庶^上園^中物^上遊^中之^上九^中年
交^中之^上油^中等^上曲^中節^上全^上自^中折^上續^中經
昔^中身^上常^中射^上也^中馳^上挽^中連^上者^中若^上之
有^中池^上誘^中引^上思^中言^上之^中法^上志^中本^上在^中也

人事^ト雜^多為^期春^會之^次
森^不能^腐毫^也心^之謹^云

正月廿日 左津^ハ厨^ノ藤^原

謹^上石^見守^殿

改^之名^之古^之廣^之社^之任^之津^之美^之心^之以^之之^之案
先^之目^之也^之度^之也^之人^之公^之自^之地^之亦^之幸^之子

美く びく 油 あぶら 毛 け 札 しるし 披 ひ 合 あ 意 い 意 い 湯 ゆ
か か ゆう ゆう えん えん 遊 あそ 鳥 とり 珠 たま 珠 たま 主 しゅ 人 にん 世 よ 凍 こ 早 はや 了 しま 耽 た
薄 うす 霧 きり 白 しろ 披 ひ 脚 あし 了 しま 促 せき 汗 あせ 仕 し 之 の 取 と
日 ひ 他 た 在 あ 障 さ 了 しま 石 いし 廬 い 意 い 百 ひゃく 子 こ 其 そ 美 み
鬼 おに 竟 さ 上 かみ 手 て 了 しま 女 にょ 半 はん 了 しま 今 いま 回 まわ 足 あし
但 た 的 てき 夫 ふ 養 やう 国 こく 未 ま 母 ぼ 湯 ゆ 沽 こ 牌 はい 入 い 凡 ぼん

一 いち 種 しゆ 一 いち 種 しゆ 志 し 了 しま 巾 きん 了 しま 標 ひょう 紋 もん 緒 じゆ 引 ひ
手 て 物 ぶつ 志 し 身 み 了 しま 主 しゅ 毒 どく 乞 き 死 し 因 いん 了 しま 可 か 法 ぽう
得 え 少 せう 之 の 万 まん 事 じ 巾 きん 物 ぶつ 志 し 了 しま 名 な 与 よ 友 ゆう
一 いち 二 に 俚 り 劫 けつ 而 に 獨 どく 了 しま 特 とく 心 しん 了 しま 薄 うす 之 の
平 へい 月 げつ 了 しま 石 いし 貝 がい 守 しゅ 中 ちゆう 原 げん
律 りつ 上 じやう 源 げん 九 く 清 しやう 了 しま 尉 ゑい 殿 てん

西洋の後に後中後良久は是れ其の
何時可致と尋ふ併に諸君
從千悔と作醍醐聖母院
氣濃香茗と白く盛や作
吉野と櫻并落交條と多梢
繁輪踏と志と世尊也幸流結る

送光陰或下好士法家狂仁
如雲以霞幸所と花志兼物
儻僕輪合劫先全隣と多屯
心未切と後思と事と公陸者
左及と所と美婢と取明得る
清同心笑と中踏也連可常道

和奇のまじりや 破鏡の竹筒事 自毛平下法身
 引以まじり侍態 色縁下望ん
 破鏡の竹筒事 自毛平下法身
 硯懐男未下寂懐才を何
 少座の歌雜を男よん候期
 衆會の次より謹々

二月廿三日

彈正忠公之若

大監物殿

飲日乞令申之 處彦百取恩
 向由同公室多生之 嘉會也 柞
 花下會中 花鳥風月志
 好生所學 詩方 著法志 嘉歎

心通の方也 沛勃進の辭抄
中懐の意也 後園屋の意也 沛山
蘇樹樓珠の意也 中一の意也
今の意也 青暴風森の意也 重云
事也 田心所 時急交の意也
和秀 陸作人 丸赤人 古月 末

宛長字の短字 旋歌 浪本 折句
當冠 風情 痛也 情也 執 執 落 落
神侍 聽句 志也 上級 昔也 以 江 部
舊海 文字 志也 序 表 賦 題 傍 傍
韻考 之 質 故 如 精 雅 以 人 同
螢火 之 精 燈 燈 之 枝 石 加 人 教

一、其、始、下、報、好、の、私、庫、執、行、致
 白、紙、物、こ、下、支、字、未、練、る、者、南、東
 定、下、及、未、南、元、柳、下、者、用、之、也
 通、の、統、可、致、少、形、秘、者、古、上、私、志
 北、之、道、毛、卷、紙、之、
 二月廿六日
 監物善源

僅、上、彈、心、忠、敵、
 脱、書、控、少、今、志、隆、事、兼、公、親
 珍、重、之、廣、度、亦、有、主、面、之、也、
 迎、年、無、昌、日、地、下、年、下、者、深、津
 早、下、及、今、未、南、元、柳、下、者、用、之、也
 相、通、一、系、少、名、種、也、
 中、山、藏

為總之國家情事境行伯能不
下致混亂他亦致法着法也
其之忠勤也厨境飯平相適也
深沙汰人亦地下園録五帳
又書濟所納法法又速也
官深率隱田溪為羅科一法也

支名也上東作業事兼相水
早下須計建地致所替
有下用作地拓居農人
後於之用水便也
役之修園境并海也佃出作
勸農除也地撰讀田急令也

種子農形從鋤耕梨木農自今
耕化穀稻早稻晚稻米為收約
可飲春法改河次富中富善夫
豆小豆大豆角豆粟麥得木法畑山
富乾乾深素代如地子逐每子
美拾拾取取以以存存自中依估次

御館生也牛五省名右力保
奉以早軍梅大城自内以角是
築地棟門唐志右軒酌成
お平の上上羊醫の森とお計
覆殿志厚首青板麻廊中
渡殿志裏板骨債法院會所

團爐義為字及所云文而改不
胎可老也贊殿馬部在口阿拔
為健兒知志華者查書下至成之
南冥通益懸馬場今作浮回
桑的山东面之接游鞠博壯極
日本無染心也心要水王心純也

法方角每禁忌柳下相計之出演
審殿之立松及菁林以盡礼堂
唐室体亦志先假菁也傳又之持
去藏又庫其中一問屏也活園樹
本心磨竹前載奈園園潤極也
致作下傳之安在慎法動仕云不站

忠孝之旨所仰也去々律々

三月五日 壬午 藩内平

所改所殿

校作下峰具足道公業教之好

等余也格沙中父出教書教之

回入部中父出教書教之

今是日以前平右書令撰抄

右日良辰科一化業第之地下

又事申或給失或失聖端能中

沙法入未依梅申一正門案念

才之美言又士負負教等尋

披逆平注を次作事志折

梁柱長押 棟木板敷材 木心為
 虹梁 木心為 由杵 木心為 雁 木心為 門冠
 木心為 椽 木心為 唐 木心為 敷板 木心為 角 木心為
 雲 木心為 懸 木心為 魚 木心為 卷 木心為 保 木心為 瓦 鴨 木心為 柄 敷
 唐 木心為 木 木心為 絲 木心為 破 風 木心為 吳 木心為 板 木心為 死 木心為 緣 木心為 角 木心為 木
 緋 木心為 欖 木心為 着 木心為 子 木心為 唐 木心為 垣 木心為 木 木心為 垣 木心為 梁

垣 木心為 檜 木心為 指 木心為 障 木心為 子 木心為 厨 木心為 子 木心為 連 木心為 子 木心為 藪 木心為 湯 木心為 子
 遺 木心為 方 木心為 集 木心為 方 木心為 織 木心為 方 木心為 文 木心為 今 木心為 標 木心為 字 木心為 立 木心為 板
 首 木心為 足 木心為 坐 木心為 天 木心為 升 木心為 緣 木心為 漆 木心為 子 木心為 骨 木心為 標 木心為 梅 木心為 泥
 押 木心為 搏 木心為 籠 木心為 木 木心為 檜 木心為 曾 木心為 出 木心為 膏 木心為 地 木心為 心 木心為 忘
 木心為 漆 木心為 下 木心為 木心為 實 木心為 木心為 心 木心為 斧 木心為 鐫 木心為 錫 木心為 錐
 釘 木心為 木 木心為 連 木心為 化 木心為 釘 木心為 金 木心為 物 木心為 木心為 用 木心為 意 木心為 漆 木心為 織

上居銀治とては作在豪族理
職大之と下巧近折立破居相立
精絶棟上吉目志裸陰陽以之誌
室下次橋木の梅栂杷香楊
梅栂栗梨子推捺板極老樹淡
神棋棋子播雲家の播精神管心

取及今身極公平行法目純
作下諸半陸事入子細公海願
田松古氏名主存居末在野公名
事々未落居事伏塔遊春之
申入らる下披露結遊也其好
三月十日 左衛門忠橋

連上 古昔為殿 あんどじゆう だん かつの せうどうの じつじふ

久不致居業肉者陸ひさしく ぞう くれ たいせ あんとあにと のあひこ せりしん 陸あんとじゆう せんしゆ せんじゆう や 陸あんとじゆう せんしゆ せんじゆう や

為何宋律事也あんとじゆう せんしゆ せんじゆう や 抄法願與あんとじゆう せんしゆ せんじゆう や

之辰來氏あんとじゆう せんしゆ せんじゆう や 毫朝夕煙厚百姓あんとじゆう せんしゆ せんじゆう や

門車西あんとじゆう せんしゆ せんじゆう や 業無仁改基物あんとじゆう せんしゆ せんじゆう や

致也あんとじゆう せんしゆ せんじゆう や 貴野敵重如人あんとじゆう せんしゆ せんじゆう や 地者あんとじゆう せんしゆ せんじゆう や

理非りひ 分ぶん 昭しやう 紀き 物ぶつ 行ぎやう 事じ 方ほう 成せい

取と 也や 存ぞん 寬くわん 有ゆう 杖じやう 強きやう 好こう 儀ぎ

傳でん 志し 不ふ 領りやう 靜じやう 澹たん 泰たい 吹すい 毛もう 不ふ

求す 道だう 急きゆう 疾じき 凡ぼん 先せん 日にち 往わう 而に 所しよ

與よ 則すなはち 田でん 紅こう 君くん 若に 者しや 津しん 無む 將しやう 澄せい

捕とら 河か 狩しゆ 野や 牧ぼく 未ま 定さだ 改かへ 考かう 切せつ

見世柄 絹布 新勢 常子 有
賣 常子 役 作 可 止 相 斗 也 之 和
居 常 志 銀 治 務 者 作 乃 也 志
色 本 道 五 金 指 銅 細 之 緝 搔 深
敷 績 織 整 漆 匠 伯 乐 牧 士 岸 燒 煎

本 松 杓 竹 輾 櫃 所 法 王 蔭 誇
竹 身 濂 唐 紙 次 筆 張 若 賣
也 如 人 乃 主 提 和 漢 名 海 人
未 必 白 粉 燒 櫛 引 爲 帽 子 折
商 人 法 酒 部 造 弓 夫 之 理 源
草 十 委 化 着 主 碎 塗 去 稱 昨

待一人 積業田乐所子 蘇儂儂子 蘇
曾法師 蘇法子 傾城白拍子 遊女
秋夜 蘇養醫師 法湯所
繪所 似所 招維也所 武藝 抄撰
漢武 蘇律 蘇僧 聖乃 淨土 頌
學 顯教 蘇宗 蘇子 生 略 略 行 蘇

勅 給 貴 僧 智 老 在 人 紀 典 仙 經
儒 者 明 法 的 約 乃 學 子 士 侍 奉 的 宗
也 復 法 子 蘇 釋 維 在 蘇 的 所
一 念 多 云 乃 僧 拾 以 不 替 法 人
法 書 單 案 子 書 主 宗 能 名 能 案
蘇 子 漢 乃 子 宗 乃 宗 乃 宗 乃 宗

毎言博覧強記給仲人等心
大切也拓居者層々疾言正
私収每事一期後白紙

中智忠敏 葛果女正

中智忠敏

被下之名最相見付公衆物

度事去藝才士性之古法

國語人採者名由運送常賞

津美今道り以事易合劫

公私潤系何の如也定収云

半時課収月由よる常事

中領更之有應元凡京町人

漢高一人種命漢高一人種命漢高一人種命漢高一人種命漢高一人種命漢高一人種命
易家共庫易家共庫以漢河鹿刀孫以漢河鹿刀孫
大津坂本大津坂本借島野白河車借借島野白河車借
泊借と漆泊借と漆替積海替積海向丸向向丸向
以刻符進上以刻符進上住持裁運送次住持裁運送次
大倉人大倉人後大津結貫後大津結貫赤糸深物赤糸深物

猶然緝字猶然緝字治布大矣泊信丸馬治布大矣泊信丸馬
惜子家町惜子家町泊来手流泊来手流楚漢漢去矣楚漢漢去矣
高口高野高口高野刺刀大忽薪中聲刺刀大忽薪中聲
炭中采集炭中采集城殿扇仁知寺有地城殿扇仁知寺有地
婦也針婦也針鞍馬本牙清碗磁器鞍馬本牙清碗磁器
以布東山以布東山善為心念古步外如賀善為心念古步外如賀

絹母後精好養法上京尾後八
文信濃布常漢神上野絹上
総鞆衣藏鏡佐治皆皆切付
伴豫屋濱波島府同權男播磨
松原佐美の口も雲鉄甲装駒馬
牛鼻あし全使中藏裁培堀引

隠波範因才精出如新淀經古
佐村本女藝博能乞全河内鍋
備後酒和泉砒若使推宰府粟
宇賀良布松浦絹布大鮫奥凍飛
紫敷武衣小唐物毛麩吹物如
雪似露布交易賣買利源先新

色四條の糸は延生糸也今春
 賜志す矣京都の僧念凡出願を
 焼る也一人は富貴有能他家風舞
 常るよ下引舞也急者御上りお尋
 後元酒借世運支方也上は清く

卯月十日

中務兼基

進上 宋女 正殿

良久人海内有積蓄也何日
 披像舞式也西法志更に謝
 併約多書格開東上向大なる
 毎一人は路次へ使の糸家も也
 用之其前には打能草身日々書受

借りと又... 式是... 助成... 總政... 國章... 澤田... 海風... 帳

借りと又... 式是... 助成... 總政... 國章... 澤田... 海風... 帳

田舎人地配係勤直料理
 成蔵物下在年補老馬車
 今雇給や 万更直成
 只来教石可被年拍海期
 未相々時首と相續々
 五月九日 大京進平

進上 藏人 将監殿 所被
 不審子方と地玉章年包初来
 更無作餘費の役直法他個志尤
 中望の如折家人先於結構毒
 乞事教家所は借用了具足不特
 心も志も也燈卷火并燭燭

のちし ひんぎも かしら のせ ちうのん と むら あ せん あ かり のう せし

之産 産 産 載 産 又 取 産 産 産 産

しまのまめ たけのこ かぶ ごぼう ごぼう ごぼう ごぼう ごぼう ごぼう ごぼう

馬 大豆 稗 糠 蔴 味 糖 増 酢 酒 塩

さい あま あま あま あま あま あま あま あま あま

素 耳 油 粉 料 油 月 糜 汁 乾 梅 干

くろ くろ くろ くろ くろ くろ くろ くろ くろ くろ

削 物 志 干 鯉 系 乾 干 蛸 魚 鮓 煮 炙

あ あ あ あ あ あ あ あ あ あ

海 蔴 生 物 志 網 籠 鯉 鮓 鮓 玉 餅 魚

う う う う う う う う う う

雄 鹿 鷹 鴨 鶉 鶉 重 雀 水 鳥 山 鳥

お お お お お お お お お お

一 毒 塩 者 志 鮓 白 干 鮓 玉 作 鶉 煮

い い い い い い い い い い

割 鮓 塩 一 録 鮓 鮓 塩 漬 干 鳥

わ わ わ わ わ わ わ わ わ わ

干 兔 干 鹿 干 江 鴨 水 燒 皮 鮓 煮

か か か か か か か か か か

伴 沃 渡 猿 本 志 干 樽 蟹 味 干 魚 海

た た た た た た た た た た

菊 復 經 信 紙 辛 螺 菜 標 蛤 鮓

き き き き き き き き き き

平 文 鮓 吸 冰 魚 志 或 買 價 或 乞

な な な な な な な な な な

素人金集... 行... 道... 以...
下... 文... 也... 律... 云

五月日
大吏将監太

左京進度

昔... 依... 連... 物... 志... 止... 心... 卷...
難... 決... 減... 止... 意... 至... 也... 抑... 世... 既

辭... 澄... 名... 乃... 稿... 舊... 者... 直... 是... 飲... 金

系... 入... 以... 處... 謀... 殺... 互... 送... 凶... 流... 也... 業

策... 平... 盜... 賊... 狼... 狽... 兇... 黨... 人... 全... 略

記... 之... 由... 之... 山... 城... 海... 賊... 淫... 竊... 空... 流

黨... 之... 持... 行... 平... 不... 棄... 取... 人... 財... 產... 追

捕... 去... 氏... 伯... 吏... 副... 取... 獲... 人... 存... 卷

のちびと ちうぐら ちうぐら の ちうぐら ちうぐら
くまの 津代 越 討 大将軍 津 法
くまの ちうぐら ちうぐら の ちうぐら ちうぐら の ちうぐら
後 けり さく 商家 津 国 北 向 越 戦
場 破 却 城 擲 長 成 西 指 籠 籠
賊 流 下 鷲 園 要 害 三 園 之 争
飲 之 進 攻 之 知 是 乃 戦 場 成 也
季 馬 下 曲 負 夫 以 筆 着 奇

鏡 為 垂 後 是 再 沛 亦 智 未 出 也
成 以 名 下 法 之 今 度 出 之 由 也
眉 目 一 門 先 達 也 心 葉 人 之 也
致 粉 骨 之 今 我 自 之 物 後 後
若 存 命 仕 以 是 在 會 之 時 也
入 也 統 中 均 軍 也 法 也 也 者 卷 也

上志下結御環河旗中深因威
卯威一様之様也且依我
忠言且通軍力之淺深欲
恩於信代お傳くも領之所無命
地志五有子細志代作不願余
命之跡也危信作世深君共謀之

二月廿日 小野

謹上後藤兵部丞殿
只今欲進上者亦危る候者
依之条相討申望也清心
後松茂場清を致事相討
始白所事也倫自院宣志大危

親式令名友符宣主心他今指
大將軍副將軍所教書音
軍機僅從非信用之限也將軍
家涉及書執事能行侍下
奉書志親換也且志例也先
規也可被申海法也及送書者

の法昆之能占同張本
之至法竊黨彰志仍被回意
是頭負之徒黨可被換也凡
膚分捕志軍丁忠之專一軍機
高名也能之法用之也次義也
之の隆見若表及以禁志青黃

東綴卯朧威黑糸鏡赤年黄
 志後唐凌小樓系年威大意
 固蘭丸橋漢固緝糸綴昭南星
 白龍頭甲白甲名一旬回玉神
 舟白蓋貌南首澄也鏡跨逆
 頼能於録石糸証矢筋切有集

黒算矢海新舟鶴本架鹿籠
 南弓老本重藤漆新糸累造
 加法卷以年一太刀志普庫鐔元須
 皆歌物染錫其金化尤右是白柄
 長刀回舟馬老連鎖華一毛棋子

くろげ ぐすぢぢら ひぢりげ くらつきげ うすぢぢら
栗毛鳥思鶴毛志鶴毛槽毛鹿
毛河原も青鶴後白月額青毛
駸名踏未皆お副合人烟口苦痛
福螺鞍白摘黒漆張鞍新鞍橋
多地は泥白鹿之巻大敷新細筋
手経狼帯豹皮鹿鞍後鹿皮鹿
手経狼帯豹皮鹿鞍後鹿皮鹿

切背水豹然皮尻漆鞍老纒木お水
残巻送くま糸一本鞍替箱袋
志野新新雨皮巻皮沖単木箱
心し取及毒気く巻又笠箱知丸
御も先無分指巻巻く心袋箱
後造ま陣様軍袋之奇一命仕

獨於肯志裁浣判狀臣後漸
く飛後也然も不及身進身
常の皇皇に廣境臣も志到
大略は式是法事均満事耐隆云

六月十日 兵部丞丹治
謹上勅解申次官殿 抄教

臣忠申入院不慮外は馳加侍
案取是公に同慮方之及作令
奔乞東面不待寸徳速持息快
自由之由以治法之因之可被淺
申や抑来申は法務負経替以爲
同派之入之相此一紅葉重楊裏

薄紅梅多々筋小袖陽子織物等
衣濃紅に縞り赤精好く蒙唐綾
狂又唐衣柄葉地雲羅襖袖縹
浮文綾摺繪書圓浩美清村緋橙
淡黄小袖圓懸帯雨画手箱
園冠表衣小單垂衣將衣箱

帽子垂垂大口古帷子大口古巾
腰刀拵胡床大星幻縹唐鞆
牛物舞束注北よ京任注又舞衣
七リツゐる 九清の厨大巾唐
進上 糸肉が箱殿

薄肉の押座する玉用は板や更

非種賦成抑板申入用物之事

任国録玉板申也用錫板も急

被持糸也但平衣文要用之也

表合はる練色悪龍白濱裏衣

二重の海文も外属は法中入

長絹素泊製法精好薄書衣

法脂錦七条巻柄尾鈍文上袴

鍔洋錫杖鉈以見也意香極水

精車坊束念珠帽子並綴罽

州種龍席板竹唐紙一對花

横筆筆筆筆和紙今狂色也

磬戸八右被福被征被二被調被
子擗被未同是得之用福半終
者不自可被持未省被夫生
瀝之玉覺也下存知念記地

七月日

純

謹上 大藏 兼 殿

下者以後久之居素因之素
如君注自若恩起非自中素
只自注之悔息也起入羊拾海
陽靜澄田人金常者夫也
也如身也木可被象也純
御門有海治定法約是所領

安法是(譯)お痛誠境毒現(譯)
欽政(譯)系所(譯)處(譯)以(譯)同(譯)政(譯)務(譯)不(譯)領(譯)
係(譯)係(譯)經(譯)合(譯)約(譯)以(譯)決(譯)定(譯)其(譯)方(譯)按(譯)持(譯)
年(譯)代(譯)官(譯)也(譯)經(譯)思(譯)未(譯)練(譯)仁(譯)全(譯)糖(譯)
古(譯)之(譯)經(譯)石(譯)教(譯)也(譯)涉(譯)詞(譯)也(譯)故(譯)交(譯)案(譯)
欽(譯)政(譯)書(譯)也(譯)其(譯)案(譯)也(譯)古(譯)代(譯)社(譯)會(譯)等(譯)事(譯)

行政(譯)事(譯)也(譯)其(譯)案(譯)也(譯)古(譯)代(譯)社(譯)會(譯)等(譯)事(譯)
載(譯)動(譯)刑(譯)之(譯)律(譯)其(譯)因(譯)義(譯)定(譯)之(譯)也(譯)
評(譯)定(譯)其(譯)下(譯)可(譯)注(譯)給(譯)以(譯)海(譯)法(譯)法(譯)務(譯)
規(譯)式(譯)雜(譯)務(譯)流(譯)例(譯)下(譯)知(譯)成(譯)敗(譯)情(譯)例(譯)
細(譯)法(譯)律(譯)令(譯)其(譯)家(譯)也(譯)遠(譯)存(譯)知(譯)仕(譯)役(譯)也(譯)
唯(譯)此(譯)學(譯)惟(譯)其(譯)者(譯)續(譯)作(譯)也(譯)也(譯)

拍信給古日此法例の付かる
おつ富事志可身の内者
筆未准雅叶の難新風情
志成管目之親度公の申
不及腐毫任約面お忘し謹云

七月廿日 加賀大権和氣

謹上 氏部 奉 又 殿

依に拍事一志一節一通波田若
しと事考しと事又事回し事
く日兼在望白の浦是は平度
我何事一志一節一通波田若
静澄し事一人の様次所し事

結也 法汝古改者 卷五法執の
也 史也 傳 滯 穢 儀 之 故 乃 復 作
有 有 然 之 緩 息 之 儀 志 亦 法 汝
費 也 下 用 之 活 持 之 計 略 先
法 志 亦 法 汝 志 云 取 出 仕 法 身
法 志 亦 法 汝 志 云 取 出 仕 法 身
法 志 亦 法 汝 志 云 取 出 仕 法 身

亦 中 一 原 法 上 之 法 計 一 口 入 取
人 因 奏 具 負 竊 權 始 可 中 之
儀 狀 謀 實 哉 垢 相 偏 未 分 甲 乙
次 亦 法 汝 志 云 取 出 仕 法 身
付 亦 法 汝 志 云 取 出 仕 法 身
圖 周 右 策 也 事 功 人 事 功 法 汝 志 云 取 出 仕 法 身

評一正隆也 窮諸更更也 休是
彼勤也 就四海 圖周 執事
書也 問狀 書也 書也 海人 問及 書也
意者 作文 後 敢下 右 有 就 毒 有
敢狀 志 也 敢 下 知 人 今 有
道 耐 志 敢 封 下 海 人 書 也 尚 也 言

沂一陣 也 沂 前 道 勇 也 任 雄
毛 也 也 幼 人 志 取 捨 事 書 新
付 觀 沛 陣 宜 事 有 人 取 合 成 也
曰 注 新 志 取 伏 沽 券 也 法 也 也 也
春 奴 婢 雜 人 春 契 和 也 大 負 也
澄 文 未 謀 矣 紀 的 之 管 領 寄 人

右筆奉行人未件あり
海軍方と集るる各仁成系
上國の時々下書書る旨の時下
使言日文調折陳状相對由記
事連後叙事切人未及回答
披露沙汰純揮致る美見之加下知也

侍亦志佳致教言中海志儀注編
二番致を五傷歩擲疎疎句
諸次指籍封作喧嘩亦も筆紙
執事事意以拾以所用代賦
併状於右卷之時不舎人式
下部未石土犯お付不純録の同

作言多辨雖疑弘的犯首之時而
犯己無所遺志則百義一式反推
四拷回拷持未身披一為拷問同
黨類未之動罪志被海一之被志禁
獄之可法刑志法他海援以即本
長教以下法事一性重具人是此法

以之次寺社所証志枕在和奉
達被是罪之被所證境志依據
管領と奉被執りて奉事お存本
存誓因奉方法規式も之指針
や主自知り難由事と御上流
之時也及相下と申也之指針

友位長谷部

大極殿

奉頌於神札以受他日之旨

幻亦中沖西夏以之系大本

之畢柳將軍家若官清美

之事世奉此故得用省方院

後日然之進也其神始令能也

冥東鷄思八播字森宿以路次

為系御車後車云郷一人騎焉

殿之人亦顯少爾亦疾之友結性

耀王陣以爲我將衣以早信書

人淨志白直書布衣空勝家友

孫直神主志捧幣帛お大威別
高社儒志解治紐お玉尊堂八
乙女名安徳市一藤遊遊廊威
昔神楽男志合調接子程作拜者
如く降附く陪後高座神楽朝倉
返御箱柏子左末賽礼貴政書

後神威具者重徳威以揚曾也
丹目波及道達虎筆具信の家守

二月十三日 九衛門尉

望上大内地殿

御清法儀好考可合奉仕書上
相存後王私志割之謝

志之東枝度之背似色真之志
後梅之外世体柳方執以
事之大法會之の神法を長老
定申南の唱聲所度公経の付
若難計清あり以首許打之條以先
可也力去駕其下以下有法塔當

性之志精舎一字三堂塔法
全堂寶塔經藏鐘梅舎堂体
所想門二階湯座儒坊舎色
身如素白煙花像其薩眼士之
冠殿之細金彩色繪像名一鋪爲
濃墨畫之第書寫相字與精續

般若續海經王勸修佛法唱誦
施羅厄念誦法書稱名喜由由
付也夏持齋彈律計數行
未攝待子僧供養非人莊
等也但以布施再致相錄物未用是
怪魁也只撥出成法執りて

地出深嘆也及以苦白汁一
標名法也一白作也者攝羅致不

九月十日 沙汰

達上侍者沙中

着札名令披見以常誠可省
法給仕旨致攝殿元今攝也

の ぎんどう 子の とうりありあるは ぎんどうの
と 宗凡情 常業 達也 尤下 謝心
や 唱 辱 中 申入 び 宗 行 動 也
興 隆 中 也 旨 根 中 多 有 不 致
進 佩 痛 教 又 佛 像 經 為 漢 漢 志
之 有 子 細 堂 塔 付 舊 再 注 也 隣
若 相 函 大 法 會 儀 式 次 下 注 也

登 高 履 大 約 乃 宗 以 聖 道 也
僧 下 註 並 其 旨 以 海 師 讀 所 注
他 聖 志 院 義 探 題 在 頃 散 華
梵 音 錫 杖 對 揚 兒 願 所 亦 致
加 法 也 俗 人 舞 臺 儀 式 也
左 地 也 法 會 指 南 以 為 先 之 致

用之物も海乃海産層層
幕大寒も雁雁蓋腰結也
意香爐も箱白蓋白拂法標
煉も芝花卓札條肉線以
またたけ儀や香園香も折書
下法烟も心事一准也所西

中限只内儀も之段徳元香也
劫も糸も時公忍も博也

九月日

侍者

平入道殿

入院新命退院西堂久平
相着る者全日可百法中法次

月 日 着 經 且 爲 調 經 之 人 約 大 齋
作 回 志 緒 夏 笑 之 可 知 時 分 院
淨 律 僧 尼 法 寺 諸 社 聖 乃 淨
喉 傳 之 事 以 他 內 秘 心 修 性 傳 物
亦 極 淨 寺 母 之 故 實 公 調 業 之 仁
古 光 行 志 事 亦 義 用 之 仁 室 令

存 知 光 委 細 下 本 法 也 禪 家 之
當 以 和 尚 東 堂 西 堂 再 知 之
才 都 寺 監 寺 副 主 活 主 典 主 住
直 藏 部 管 部 司 修 達 主 孝
主 活 頭 之 首 方 志 前 堂 後 堂
支 首 冠 書 記 兼 主 維 那 知 客 燒

香付志書狀法中湯菜及痔
未債乞以介者喬法僧增以
坊主且道僧山室庵主沙弥
食以老叢頭副兼坐叢僧以
重司庫子屋以調菜人主乞見
部出納山室在身書大鈴振

等也律僧志長老智等典姓
海深八新戒人之法所也聖
道志等拾授執行別苗名
史學頭座主流主執苗先達
河因梨法楷律師僧如法平
僧心山自代大勅進少別苗

得業因修奉已備堂在預書
當勿苗部維那寺主上社下
承仕子月未至外省職僧經院
等如禪家方志相傳避齊
僧俗在外儒堂之業堂即志
從僧顯使回朋推重之及信際

時之著人任人教云雖心云布
族物弘福次可注給上示泉地
法事清才學子外堂所演
正點心座殿身志在如中如
兼又出名中外人掛塔僧
其如卷預涉涉容陸先表合

毎事均審今次上之海

十月三日

沙珠

進上 衣鉢 儂 押

淡札 旨 大 蘇 新 公 事 終

中 畫 作 押 調 業 人 亦 事

至 終 仁 之 深 粗 任 恩 丈 令

注 進 一 沙 布 様 物 事 被 物

福 物 未 之 仕 略 之 仕 亦 丈 西 堂

若 後 業 少 神 之 堂 亦 素 羅 青

番 羅 之 仕 仕 仕 及 仕 亦 花 葛 性

并 黃 車 亦 一 二 端 亦 京 細 古 等

知 事 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

單^{だん}款^{さん}之^の絹^{ぬい}花^{はな}續^{つづ}本^{ほん}淨^{じやう}木^も各^ご一^{いつ}
 砵^び頭^{とう}首^{しゆ}方^{ほう}丈^{ぢやう}素^す紗^{しゃ}衣^い袋^{ぶくろ}沙^さ袋^{ぶくろ}袋^{ぶくろ}
 各^ご一^{いつ}帖^{てつ}巾^{いん}布^ふ款^{くわん}絳^{じやう}巾^{いん}絳^{じやう}巾^{いん}絳^{じやう}巾^{いん}
 著^{しやく}匙^し木^{もく}錦^{きん}吐^つ脱^{だつ}蒲^ぼ團^{だん}布^ふ紙^し
 香^{かう}爐^ろ香^{かう}合^{がふ}毛^{もう}氈^{せん}氈^{せん}氈^{せん}氈^{せん}氈^{せん}熨^い燭^{しやく}

竹^{ちやく}筵^{せん}曲^{きよく}録^{りやく}法^{ぽう}被^ひ行^{かう}敷^し水^{すい}引^{いん}木^{もく}
 頭^{とう}首^{しゆ}下^げ下^げ下^げ下^げ下^げ下^げ下^げ下^げ下^げ下^げ
 水^{すい}織^し紅^{かう}糟^{そう}精^{しやう}鷄^{けい}蟹^{がい}卷^{けん}羊^{やう}子^し卷^{けん}
 猪^{ちゆ}卷^{けん}驢^{ろう}腸^{ちやう}卷^{けん}羊^{やう}子^し卷^{けん}羊^{やう}子^し卷^{けん}
 羊^{やう}子^し卷^{けん}羊^{やう}子^し卷^{けん}羊^{やう}子^し卷^{けん}羊^{やう}子^し卷^{けん}
 細^こ卷^{けん}餅^{びやう}菓^{くわ}菓子^し木^{もく}棋^き子^し棋^き子^し棋^き子^し棋^き子^し棋^き子^し

純凡得赤子木可_レ治_レ時_レ系
物也_レ伏菟曲_レ炙_レ餅_レ燒_レ餅_レ茶_レ具
茶素餅_レ糖_レ木_レ者_レ客_レ料_レ之_レ用_レ定
法_レ時_レ笑_レ可_レ治_レ潤_レ色_レ茶_レ白_レ志_レ建
薑_レ天_レ大_レ固_レ烟_レ香_レ饒_レ別_レ之_レ茶_レ境_レ茶
木_レ梳_レ茶_レ袋_レ八_レ入_レ包_レ之_レ茶_レ煎_レ茶

筴_レ茶_レ梅_レ茶_レ帶_レ茶_レ抄_レ免_レ足_レ湯
紙_レ罐_レ子_レ橘_レ茶_レ之_レ磨_レ水_レ在_レ打_レ敷
豆_レ子_レ揀_レ子_レ豆_レ膳_レ之_レ後_レ打_レ袋_レ同_レ之
枝_レ副_レ整_レ也_レ出_レ汁_レ之_レ豆_レ腐_レ卷_レ茶
辣_レ參_レ香_レ林_レ茶_レ再_レ暑_レ頑_レ豆_レ腐_レ茶
薩_レ葡_レ山_レ茶_レ寒_レ汁_レ之_レ茶_レ去

織イト蔴マ苗ネ黃ワウ連レン牛ウ房フ昆コン布ブ
イト マ ネ ワウ レン ウ フ コン ブ
 厚コウ以イ布フ一イチ意イ也ヤ黑クワ老ロウ蘇ソ節セツ蘇ソ
コウ イ フ イチ イ ヤ クワ ロウ ソ セツ ソ
 蘇ソ冰ヒョウ漬シ茗メイ荷カ蔴マ子シ燕エン物モノ茄カ拍パク
ソ ヒョウ シ メイ カ マ シ エン モノ カ パク
 茄カ子シ砲パウ菜サイ胡コ瓜カ耳エ漬シ細サイ豆トウ菜サイ
カ シ パウ サイ コ カ エ シ サイ トウ サイ
 豆トウ茶サイ蔴マ園エン豆トウ芹セン一イチ芥カイ菜サイ砲パウ
トウ サイ マ エン トウ セン イチ カイ サイ パウ
 和ワ布フ喜キ蜜ミツ神シン馬マ藻ソウ實ジツ干カン甘カン若ニョク
ワ フ キ ミツ シン マ ソウ ジツ カン カン ニョク

煇キ若ニョク酒シュ賣バイ松ソウ茸ジョウ一イチ栗リ茸ジョウ馬マ鹿ロク菜サイ
キ ニョク シュ バイ ソウ ジョウ イチ リ ジョウ マ ロク サイ
 隨ズイ肝カンのノ別ベツ一イチ時ジ之後ノチ菜サイ子シ者シャ生セイ
ズイ カン ノ ベツ イチ ジ ノチ サイ シ シャ セイ
 栗リ枝シ椎シュイ葉エフ田テン子シ覆フク盆ボン子シ百ヒャク合カフ茶チャ
リ シ シュイ エフ テン シ フク ボン シ ヒャク カフ チャ
 冬トウ陵リョウ子シ陸リク山サン自ジ走ソウ下カ角カク清セイ熱ネツ病ビョウ眼ガン
トウ リョウ シ リク サン ジ ソウ カ カク セイ ネツ ビョウ ガン
 寮リョウ胸キョウ背ハイ眼ガン儒ニョ衣イ定テイ浦ポ衣イ及キ下カ皂ソウ衣イ
リョウ キョウ ハイ ガン ニョ イ テイ ポ イ キ カ ソウ イ

らんしんりょう せんりきせきばいりょう びりくのあんそくひょう
控心形を逆をみておのせ危くす針也
依^二下^一を粗^二身^一を^二細^一令^二系^一相^二傳^一
時^二可^一計^二中^一や^二心^一を^二謹^一ま^二ま^一

十月日

集

以^二間^一持^二病^一再^二發^一又^二の^一氣^二後^一病^二慮^一
芳^二未^一更^二奮^一奮^二意^一の^二療^一治^二疾^一治^二隨^一お

為^二醫^一骨^二之^一信^二教^一業^二師^一志^二同^一之^二業^一也
和^二氣^一中^二波^一之^二曲^一業^二實^一の^二就^一逢^二以^一桂^二葉^一
洗^二之^一素^二有^一之^二然^一之^二仁^一志^二之^一法^二天^一之^二建^一也
針^二治^一湯^二治^一術^二治^一養^二生^一之^二建^一也
大^二切^一以^二世^一邊^二の^一業^二志^一脚^二之^一中^二風^一上^二業^一
以^二風^一志^二刺^一志^二刺^一肉^二痔^一肉^二應^一了^二腫^一

物もの 瘡かさ 病びやう 咳せき 病びやう 疾やく 喘ぜん 嗽そう 木も 心こころ 如ごと 秋あき
もの 瘡かさ 病びやう 咳せき 病びやう 疾やく 喘ぜん 嗽そう 木も 心こころ 如ごと 秋あき
もの 瘡かさ 病びやう 咳せき 病びやう 疾やく 喘ぜん 嗽そう 木も 心こころ 如ごと 秋あき
 見み 知ち 以い 死し 癩れん 狂きやう 厥くわく 病びやう 傷やう 寒かん 傷やう 風ふう
み 知ち 以い 死し 癩れん 狂きやう 厥くわく 病びやう 傷やう 寒かん 傷やう 風ふう
み 知ち 以い 死し 癩れん 狂きやう 厥くわく 病びやう 傷やう 寒かん 傷やう 風ふう
 名な 号ごう 亦お 心こころ 不ふ 交かう 友ゆう 以い 同どう 志し 持ち 徒た 合ごう
な 号ごう 亦お 心こころ 不ふ 交かう 友ゆう 以い 同どう 志し 持ち 徒た 合ごう
な 号ごう 亦お 心こころ 不ふ 交かう 友ゆう 以い 同どう 志し 持ち 徒た 合ごう
 業ぎやう 淫いん 業ぎやう 福ふく 業ぎやう 者しや 任にん 事じ 方ほう 以い 送そう 加か 職しやく
ぎやう 淫いん 業ぎやう 福ふく 業ぎやう 者しや 任にん 事じ 方ほう 以い 送そう 加か 職しやく
ぎやう 淫いん 業ぎやう 福ふく 業ぎやう 者しや 任にん 事じ 方ほう 以い 送そう 加か 職しやく
 合ごう 一いつ 副ふ 欲よく 人にん 之し 昨やく 亦お 亦お 亦お 亦お 亦お 禁きん 好こう
ごう 一いつ 副ふ 欲よく 人にん 之し 昨やく 亦お 亦お 亦お 亦お 亦お 禁きん 好こう
ごう 一いつ 副ふ 欲よく 人にん 之し 昨やく 亦お 亦お 亦お 亦お 亦お 禁きん 好こう
 拘かう 注ちゆ 父ふ 名な 倉そう 禁きん 之し 他た 但た 業ぎやう 敏みん 聖せい 牛ぎゆ
かう 注ちゆ 父ふ 名な 倉そう 禁きん 之し 他た 但た 業ぎやう 敏みん 聖せい 牛ぎゆ
かう 注ちゆ 父ふ 名な 倉そう 禁きん 之し 他た 但た 業ぎやう 敏みん 聖せい 牛ぎゆ

一いつ 寫しやう 諸しよ 百ひやく 端たん 新しん 報ほう 傳でん 約やく 面めん 相しやう 映えい 心しん

寺てい 多た 寺てい 多た 寺てい 多た 寺てい 多た 寺てい 多た

紙し 上じやう 全ぜん 計けい 既けい 度ど
し 上じやう 全ぜん 計けい 既けい 度ど
し 上じやう 全ぜん 計けい 既けい 度ど
 技ぎ 亦お 業ぎやう 親しん 嚴げん 者しや 所じよ 用じゆう 也や 次じ 分ぶん
ぎ 亦お 業ぎやう 親しん 嚴げん 者しや 所じよ 用じゆう 也や 次じ 分ぶん
ぎ 亦お 業ぎやう 親しん 嚴げん 者しや 所じよ 用じゆう 也や 次じ 分ぶん
 的てき 也や 仰おほい 南なん 乃なり 名な 醫い 志し 有あ
てき 也や 仰おほい 南なん 乃なり 名な 醫い 志し 有あ
てき 也や 仰おほい 南なん 乃なり 名な 醫い 志し 有あ
 奔ほん 走そう 也や 權けん 侍し 醫い 者しや 也や 續じゆく 明めい 流りゆう 去こ
ほん 走そう 也や 權けん 侍し 醫い 者しや 也や 續じゆく 明めい 流りゆう 去こ
ほん 走そう 也や 權けん 侍し 醫い 者しや 也や 續じゆく 明めい 流りゆう 去こ

籍療者其石炭達者按解
仁他後唐舟沈中絶業
事以敢用和柔志下冷系也
至八草湯治風爐温水
至指費以凡坊肉道及濁酒
能酒所化身若愈暴辛若
長途能滿旅不疲芳第指
氣熱欬芳傷嗣食食淨更
飲食由更之板極增飲味
獎湯寒自為衣美之

可睡眠昏沈軟義及初食物
能酒所化身若愈暴辛若
長途能滿旅不疲芳第指
氣熱欬芳傷嗣食食淨更
飲食由更之板極增飲味
獎湯寒自為衣美之

以林高志んく事也 省中ん坊
被者生也 必く律之

十一月日

職部某

進上 五月殿

市領國後鳥兜押移を遂
西條高成忠性之助と稱る

清上流く事よ預者候 案察契
母を甲斐藩に玉置候存儀及
推定出候事之也 尚候る國之土産
諸新推未至給云 始踏月何次第
道日訪身流志ん下止地行且候也
在廳官人 本瓦以符迄訪友

車一乗勢を任者府儀式友仗
大奉之食膳厨規式友頼細法
那判友代未沙法由事字之直
治也 お穂古巨細身後及也頼
通面納やの工皆事起也

十二月之 集人作

海上越前守殿

御清且血披園珍をこ見出
玉珠地事おん難謝し柳達事
國版流冠通音信り口里流克法
送石津守也何時謝し口信家
内之廣海次府勇去途能瑞也

清和五州府之陸段從臨涉
昨之貞信調を准納准布海例
列納進進之法支祖教祖來
送狀納取平法收納激潤
濟期現物支給備來納省上
准授軍水取換拾回上換換

古之勅注算用及大郡合勅合
物五五狀加備社神名高
在幣寺社入堂前之法會
まき之仁事守先例無怠
博也也也也也也也也也也
法利注算大古之也難注也保白

ところの かんり
 古負之 現利 且多也 百半任
 雅 之 西 平 遠 乱 軍 准 多
 紙 上 海 船 行 石 志 之 漢 云

十二月三日

越前守 藤部

進上 準人 依殿 沙也事

元治二年 越後國 宮沼郡 五里村

中 之 常 東

重 之 良

嘉永五年壬子十月蒙

御免

番 長 次 郎 共

奉行

皇都

書林

寺町通松原上ル

菱 屋治兵衛

同 綾小路下ル

近江屋佐大郎

五條通堀町東入

菱 屋友七

堀川通二条下ル

越後屋治兵衛

